

保証声明書

2015年温室効果ガススコープ3排出量
アサヒグループホールディングス株式会社

保証業務の条件

この保証声明書は、アサヒグループホールディングス株式会社に対して作成されたものである。

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド (LRQA) は、アサヒグループホールディングス株式会社 (以下、組織という) より、同社の 2015 年 (2015 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日) の温室効果ガス (GHG) 排出量データ (以下、報告書と言う) の保証業務を委嘱された。

報告書は、組織の日本国内の事業活動からの GHG 排出量に係わるものである。

スコープ3のうち、カテゴリ8、13、14及び15は、対象となる活動が組織の事業にないことから対象外とした。また、カテゴリ10において、カルピス原液を原料とした製菓、加工がされているケースがあるが、①カルピス原液は組織において最終製品であること、②販売液量における保存についてはホームユースのシナリオを使用することで保守的に算定されていることより、中間製品の販売としては対象外とした。

組織の事業活動のうち、海外拠点及び関連会社からの GHG 排出量は保証業務の対象外である。

管理責任

組織は、報告書の作成と開示されたデータ及び情報管理の効果的な内部統制の維持に対して責任を有する。また、LRQA の責任は、組織との契約に従い、報告書の保証業務を実施することである。

報告書は、最終的に組織に承認され、引き続き組織の責任の下にある。

保証手続

LRQA の検証は、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量の算定に関する基本ガイドライン¹を参照して組織が自ら定めた報告手順に従って算定され、報告書に明記された GHG 排出量データについて、限定的保証を提供するために、「ISO14064-3:2006 温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引」に従い、更に GHG プロトコルの「企業のバリューチェーン (Scope3) の算定及び報告に関する基準」を参照して実施された。

結論を得るために、保証業務はサンプリング手法を用いて、次の事項を含んで実施された。

- GHG 排出量データと記録の管理に係わるプロセスのレビュー
- GHG 排出量データと記録の管理に係わる主な担当者へのインタビュー
- 集計された 2015 年の GHG 排出実績データ及び記録の検証

保証水準と重要性

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

検証意見

上記の保証手続において、下の表1に要約された報告書の GHG 総排出量が重要な点で正しくないことを示す事実はなかった。また、報告書が、組織が自ら定めた報告手順に従って作成されていないことを示す事実は認められなかった。

LRQA 推奨事項

¹ 環境省、経済産業省



今回排出量算定の対象としてアサヒグループの中核事業会社であるアサヒビール株式会社及びアサヒ飲料株式会社の日本国内の事業を特定して実施しており、各工場集計データを元とする算定に関して、工場毎での様式が異なる場合が見られ、算定元データの管理に複雑さが見られた。今後、グループ全体で取組む段階では事業会社が積み上げ、より精度の高いデータが取れることが期待される。

日付: 2017年4月14日

清水 佐衣子

清水 佐衣子

主任検証者

ロイドレジスタークオリティアシュアランスリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA Reference: YKA4005296

表 1.アサヒグループホールディングス株式会社の 2015 年 GHG 排出量（スコープ 3）の要約

カテゴリ	トン CO ₂ e
① 購入した製品サービス	1,820,858
② 資本財	81,129
③ Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	60,609
④ 輸送、配送（上流）	433,341
⑤ 事業から出る廃棄物	4,609
⑥ 出張	950
⑦ 雇用者の通勤	3,530
⑧ リース資産（上流）	対象外
⑨ 輸送、配送（下流）	147,775
⑩ 販売した製品の加工	対象外
⑪ 販売した製品の使用	361,759
⑫ 販売した製品の廃棄	45,239
⑬ リース資産（下流）	対象外
⑭ フランチャイズ	対象外
⑮ 投資	対象外
合計 GHG 排出量	2,959,799

This Assurance Statement is subject to the provisions of this legal section:

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Ltd. (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this Legal Section as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

Due to inherent limitations in any internal control, it is possible that fraud, error, or non-compliance with laws and regulations may occur and not be detected. Further, the verification was not designed to detect all weakness or errors in internal controls so far as they relate to the requirements set out above as the verification has not been performed continuously throughout the period and the verification carried out on the relevant internal controls were on a test basis. Any projection of the evaluation of control to future periods is subject to the risk that the processes may become inadequate because of changes in conditions, or that the degree of compliance with them may deteriorate.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register assumes no responsibility for versions translated into other languages.

In the case of any conflict between the English and Japanese versions of this legal section, the English version shall prevail.